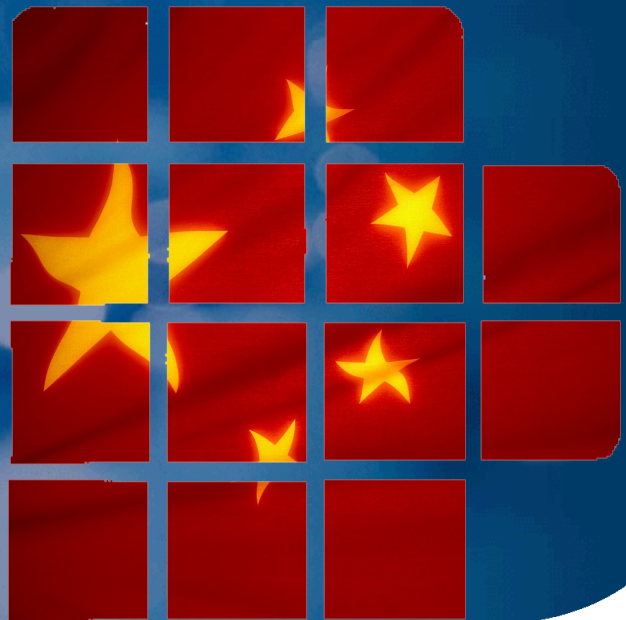


世界の防犯 中国の防盜と保険



中国市場における購買行動および窃盜と保険の文化的影響

影響力の大きい中国市場において、防犯装備システムの利点と必要条件に関して信頼できる情報を入手するのが困難であるという事実は広く受け入れられています。消費者ニーズを満たし、市場シェアを確保するためには、窃盜犯の手法、特定の車種に対するリスク、防犯装備対策の認知された効果を理解することが不可欠です。本書「中国の防盜と保険」(参照番号：SBD/SEC/2170)では、これらの重要な問題に関する見識を提供しています。



本書では以下のような内容を取り上げています。

- 消費者に保険奨励金を提供する経済的な防犯装備対策の価値
- 推奨される防犯装備戦略をとることで、ブランドの評判に傷がつくことの回避
- 新しい車種を標的とし、その防犯装備システムを打破してしまう窃盜犯の手法
- 中国における防犯装備採用への壁

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

担当：太田 千絵

Eメール：cohta@sbdjapan.co.jp

Tel：052-253-6202



中国では、ブランドイメージが高い購買意欲への動機

自動車技術における原動力

車両窃盗の影響と車両保険の費用は、中国にとって適格な車両仕様の設計を可能にするため、情報が不可欠な分野です。

中国の経済は急激な発展を遂げていますが、全国民が揃ってこれを楽しんでいる訳ではなく、社会格差が急速に拡大しています。「持てる者と持たざる者」の格差を埋めているのは闇取引であることが多く、格差が大きければ大きいほど闇市場も大きくなります。中国の社会格差には車に対する強い願望が潜んでいるのです。SBDはこの格差が今後更に拡大し、引き続き中国での自動車盗難増加の動機となると見ています。中国での車両窃盗統計は、警察対応の改善にも関わらず、車両窃盗問題が過去 2、3 年で減少していないという事実を公表していません。

中国の盗難のパターンとして、人気が出るとその車種が狙われる上、最新のイモビライザーでさえ打破するほど高度の盗難手口が既に用いられています。

現在中国で法的に義務付けられている自動車防犯装備は、ステアリングロック(もしくは同等品)の装着のみですが、非国産メーカー数社は、中国の自動車窃盗犯に狙われているため、イモビライザーやその他の装備を設定しています。中国の新しいドライバーが増加する中で、防犯装備システムの利点に対する認識は極めて低く、自動車が盗まれたとしても、その被害を盗難保険を利用して取り戻すことは、不便かつ困難なプロセスとなっています。

一般的に中国の保険会社、国会議員、警察による取り組みが増加しているにも関わらず、防犯装備に関する責任は依然として自動車メーカーに任されたままなのが現状です。

防犯装備の認知価値が低いため事業は困難でありながら、高い購買意欲の動機は車両のブランドイメージであり、高い窃盗率はブランドイメージにマイナスの影響を与えかねません。

代表的な

アフターマーケット装置



Steering wheel lock



レポートが明かす重要な質問に関する答えは？

- 中国での自動車窃盗法、そして窃盗を防止する防犯装備の種類は？
- 新規自動車顧客の購買力は？
- 中国での防犯装備採用に対する壁は？
- 中国市場における本当のニーズとは？

目次

1.	要旨	4.	保険事情
1.1	背景	4.1	保険費用と割引措置
1.2	概要と提言	4.2	盗難保険の選択
1.3	手口	4.3	自動車盗難賠償請求
1.4	結論		
1.5	中国の保険の状況	5.	防犯事情
1.6	提言	5.1	自動車メーカー別、装備設定状況
2.	市場の状況	5.2	代表的なアフターマーケット装置
2.1	経済状況	5.3	車の所有者の態度
2.2	自動車市場	5.4	防犯レベルについての提言—法当局者
2.3	自動車の価格	5.5	防犯レベルについての提言—所有者
2.4	個人のステータス	5.6	防犯レベルについての提言—自動車窃盗犯
2.5	中国の自動車の仕様	5.7	事例調査—アウディ A6
3.	盗難の状況		
3.1	総合的な盗難データ		
3.2	盗難車の種類		
3.3	盗難の場所		
3.4	典型的な自動車窃盗犯		
3.5	東南の手口		
3.6	刑罰		
3.7	法律		

図表リスト

図1.	‘自動車両’盗難総数に占める乗用車盗難の割合
図2.	自動車価格と賃金の関係(対数尺度) 単位:中国元
図3.	広東省珠江デルタ地域の地図
図4.	自動車所有台数予測
図5.	ブランドおよび国籍別市場シェア
表6.	GDPを用いた中国各地での自動車の求め易さ
図7.	中国での自動車両の盗難件数
表8.	推計による乗用車の盗難件数
図9.	2006年に上海でおきた乗用車盗難の発生場所
図10.	中国のイモビライザー解読器
表11.	中国での自動車犯罪に対する刑罰
表12.	自動車保険契約の費用
表13.	防犯装備に与えられる盗難保険割引
表14.	メーカー別にみた防犯装備内容
表15.	代表的なアフターマーケット装置
図16.	所有者が考える盗難リスクの高い車

他社には真似できない競争力...

レポートの著者について...



ジェレミー・ワージントン : SBD ジャパン 技術部長

英国および日本の日産技術センターに 5 年間勤務し、特に自動車防犯性に関する部品設計、検査に携わった後、SBD の車両防犯部で研究・技術スペシャリストとして、また管理職として 7 年間勤務し、トヨタプロジェクトを担当。2006 年には名古屋の SBD ジャパン事務所運営のため、技術部長の職に就く。現在はこの名古屋の拠点から数多くの日系顧客企業にサービスを提供している。オックスフォードとラフバラ大学で工学を専攻し、自動車技術の一側面としての自動車防犯については、実用、技術の両面で造詣が深い。欧州、日本での数々の防犯関連のイベントでは、ゲスト講演者、司会者を務める。

注 文 書

本書「中国の防盜と保険(参照番号 : SBD/SEC/2170)」へのお問い合わせは下記にて承っております。

またご購入をご希望のお客様は、以下のご購入形態をご選択いただき必要事項をご記入のうえ、e-mail や Fax でのご注文も頂けます。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

本書のご購入形態 (税抜き本体価格)

英語版

- シングルユーザ(製本のみ) ¥269,000
- マルチユーザ(製本+PDF) ¥355,000

日本語翻訳付

- シングルユーザ(製本のみ) ¥319,000
- マルチユーザ(製本+PDF) ¥405,000

お名前:
E-mail :
貴社名:
住所:
電話番号:
ご署名:

関連するレポート



ブラジルにおける車両盗難傾向および車両追跡要件(参照番号 : SBD/SEC/2126)

2009 年から全新車両を対象とした車両追跡装置の装備に関する驚きの新法律が導入されます。これにより、車両デザインは大幅な変更が要求され、メーカーは新法律に対応するため、サービス会社と新たなパートナーシップを構築する必要にせまられています。



世界の防犯 インドにおける窃盗と自動車保険(参照番号 : SBD/SEC/2078)

2008 年 10 月からインドで導入される新法律は、イモビライザーを義務付ける保険要件を増加し、自動車メーカーとサプライヤーに新たな市場機会を生み出すことが予想されます。

上記レポートの詳細についてはこちらまで
postbox@sbdjapan.co.jp

SBD ジャパン

Email : cohta@sbdjapan.co.jp
Tel : 052-253-6202 / Fax: 052-253-6204
(担当:太田 千絵)